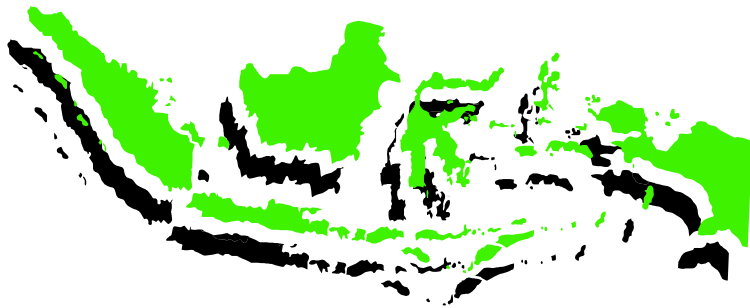




# まるわかりハラール認証

インドネシアにおけるハラール保証制度の全容





# 自己紹介



- 1975/4～1981/6 ヤマハ(株)入社 インドネシア工場立上支援部門
- 1981/6～1987/3 インドネシア工場生産課長 電子鍵盤楽器の組立生産
- 1987/3～1995/7 インドネシア工場長 電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化
- 1995/8～2005/3 帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト
- 2005/3～現在 ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

ジェットロ専門家(2013年～2021年)

OBACアドバイザー

AOTSインドネシア経営者研修コース講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会理事

これまでの支援企業数は約100社  
コロナ以前は毎月インドネシアに出張

現在はインドネシアからのニュースや政府発表を毎日インドネシア語でチェックしています。

インドネシアとの  
関わりも46年に  
なりました。



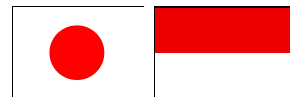
# セミナー要旨



- インドネシアでのビジネスや生活において、ハラルと言うイスラムの戒律は避けて通れないものです。
- 2024年から2026年にかけて対象品目に対する規制は法的に義務化されます。
- また、ハラル認証も2022年3月以降は各イスラム団体からインドネシア宗教省発行のものに統一されます。
- これらの動きは考え方次第ではビジネスチャンスとも捉えられます。
- そこで、このセミナーでは日本企業の立場で、ハラル認証制度にどのように対応すべきかをインドネシアに特化して解説します。
- 尚、本スライドは主に2008年にインドネシアイスラム学者協議会食品・医薬品・化粧品検査機関(LPPOMMUI)から発行されたハラル保証制度全般解説を基にしています。



1. ハラル・ハラムとは何か
2. ハラル保証対象品目
3. ハラル保証制度構築
4. ハラル認定手続き
5. ハラル認定手続き料金
6. ハラル認証/ハラルロゴ
7. 関連用語

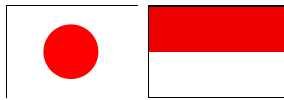


- ① ハラルとハラムの解釈
- ② イスラム法での原則
- ③ 肉製品
- ④ 動物性材料の派生物
- ⑤ 植物性材料
- ⑥ アルコール製品
- ⑦ 菌製品
- ⑧ その他材料
- ⑨ 施設・設備・機器
- ⑩ ハラル・ハラム特定方法

# 1. ハラル・ハラムとは何か



# 1. ①ハラールとハラムの解釈



## ■ ハラールとは許されることである。

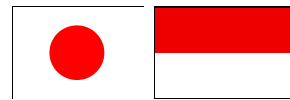
- 食べ物については、アル・クールアンあるいはハディースの中で特別に述べられた物を除いて食べ物の多くはハラールに含まれる。

## ■ ハラムとは唯一絶対神アッラーが厳しく禁じた行いである。

- これに挑んだ全ての者は来世においてアッラーの罰を受けることになる。
- さらには時として今生においても戒律の罰を受ける恐れがある。



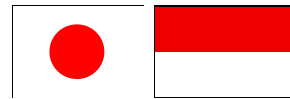
# 1. ②イスラム法での原則



1. 基本的にはほとんど全ての物が法的にはハラルである。
2. ハラルであるか、あるいはハラムであるかを決めるのは唯一絶対神アッラーのみの権限である。
3. ハラルのものをハラムとし、ハラムのものをハラルとすることは唯一絶対神アッラーに対する不遜行為に含まれる。
4. 腐敗しているものや危険であるものはハラムとされる。
5. 既にハラルでありハラムであるものを必要としないもの。
6. ハラムであるものに繋がるものは法的にはハラムである。
7. ハラムの作戦を立てることは法的にはハラムである。
8. 良い意向はハラム法を消さない。
9. ハラムの中に落ちないように見えないものに気を付ける。
10. ハラムであるものは全てにとってハラムである。



# 1. ③肉製品



- イスラムの戒律規定に従わずに屠殺された場合はハラール動物の肉であっても非ハラールになり得る。屠殺工程の危険箇所となり得るところは以下の通りである
  - a. 屠殺者(ムスリムで日々のイスラム戒律を遵守して実践している人間)。
  - b. 気絶(屠殺前に動物が死なないこと)。
  - c. 器具/刃物(鋭利なもの)。
  - d. 屠殺後の手続き(その後の手続きの前に動物は完全に死んでおり血はしっかりと抜かれている)。
  
- 輸入肉については以下の点に注意すること
  - a. LPPOM MUIに認知された機関からのハラール認証が完備されていること。
  - b. 船積み書類やその他書類(保健その他)が完備されていること。
  - c. ハラール認証とその他の書類が一致していること。
  - d. 書類と現物(梱包、ラベル、その他)が一致していること。
  - e. ロット番号、工場番号、屠殺日付等が一致していること。

注)危険箇所:ハラムの原因になり得るところ。





# 1. ④動物性材料の派生物

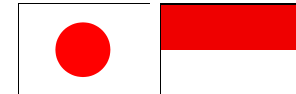


■ 血からの物ではなくハラムで不浄の材料が混ぜられたものでない限り、イスラムの戒律に則り屠殺されたハラル動物からの場合はハラルで神聖なステータスの動物派生物材料である。以下に紹介されるのは動物の派生物あるいは動物の派生物からと思われる例である：屠殺者（ムスリムで日々のイスラム戒律を遵守して実践している人間）。

- 脂肪
- 蛋白質
- ゼラチン
- コラーゲン
- 脂肪酸および派生物 (E430-E436)
- 塩あるいは脂肪酸エステル (E470-E495)
- グリセロール/グリセリン (E422)
- アミノ酸 (例: システイン、フェニララニン、他)
- 食用骨リン酸塩
- ニリン化三カルシウム
- 血漿穀粉
- 凝縮グロブリン
- 線維素原
- 菌育成媒介 (例: 血寒天)
- ホルモン (例: インシュリン)
- 豚/牛の臍臓からの酵素 (アミラーゼ、リパーゼ、ペプシン、トリプソン)
- タウリン
- プラセンタ
- 乳製品、乳の派生物、および酵素を使い加工された副産物 (例: チーズ、乳清、乳糖、乾酪素)
- いくつかのビタミン (例: ビタミンA, B6, D, E)
- 活性炭
- 刷毛



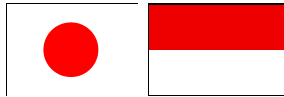
# 1. ⑤植物性材料



- 植物性材料は基本的にハラルであるが、ハラルでない添加材料や補助材を使って加工された場合は、その材料はハラルではない。そのため、製造工程の流れと共に、植物性材料の加工において使われる添加材料や補助材を知る必要がある。以下に述べられるのは危険箇所となるかもしれない植物性材料の例である：
  - 小麦粉はB1, B2, 葉酸などのいくつかのビタミンで補強出来る。
  - 水溶性にするため、オレオレジン(唐辛子、各種香辛料、他)は乳化剤(例:動物性の可能性があるポリソルベイト/トウインおよびグリセリル・モノリート)を利用出来る。
  - 大豆レシチンは機能改良のために製造工程でホスホリパーゼ酵素を使っている可能性がある。
  - 植物タンパク質加水分解物(HVP)は加水分解工程において酵素を使っている場合は注意する必要がある。



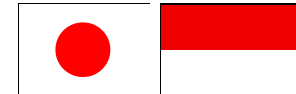
# 1. ⑥アルコール製品



- 少なくとも1%のエタノールを含む飲物はハラムである。
- 1%に満たないエタノールを含む発酵工程で製造される飲料は酔う飲物には分類されないが消費することは禁じられる。
- 非アルコール飲料として製造されたエタノールは法的には汚れたものではなく神聖なものである。
- アルコール飲料産業の派生製品/材料ならびに副産物は、物理的に分離して取り出されたり、まだ酔うものであったりする場合は、ステータスはハラムである。しかしながら、その材料/製品が化学的に処理された結果、新たな合成物として取り出された場合、ステータスはハラルとなる。アルコール飲料産業の派生製品および副産物の例は以下の通り：
  - コニャック油(コニャック/ブランディー蒸留の派生製品)。
  - フェーゼル油(蒸留飲料の派生製品およびイソアミルアルコール、イソブチルアルコール、プロピルアルコール、グリセロール、アセタルデハイド、2,3ブタナジオール、アセトン、ディアセチル等の副産物)。
  - 醸造イースト(ビール産業の派生製品)
  - 酒石酸(ワイン産業の派生製品)



# 1. ⑦菌製品

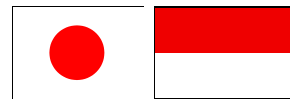


## ■ 菌製品で以下の分類に入る場合はハラムとなる：

- 明らかにハラムである菌製品で、アルコール飲料(酔うもの)とその派生品や副産物。
- 繁殖、寒天および製造の媒体においてハラムの材料からの媒体を使っている菌製品。それらの中でハラムとされる、あるいはハラムであることが疑われる例として：血、ペプトン(酸あるいは酵素を使った肉、カゼインあるいはゼラチンのような蛋白質を有する加水分解材料の製品)。
- 製造工程の中でハラム材料からの酵素を取り込む菌製品。
- 製造工程の中でハラムの補助材を使う菌製品。例としては、微生物培養における泡抑制剤の利用で、豚の油/脂肪、グリセロール、あるいはその他材料となり得るもの。
- ハラム材料から取り出された情報を使った遺伝子組み換え菌製品。例としては以下の通り：
  - a. 動物組織からの情報でのサッカロミセス-セレビジエ遺伝子組み換えにより作られた $\alpha$ -アミラーゼおよびプロテアーゼ酵素。
  - b. 豚の膵臓組織からの情報でのE螺旋遺伝子組み換えにより作られたホルモン・インシュリン。
  - c. E螺旋遺伝子組み換えにより作られたヒト成長ホルモン。



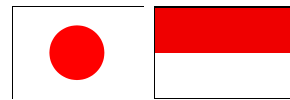
# 1. ⑧その他材料



- 上記の材料グループの他に、以下は未ださほど頻繁に危険箇所となっていない材料/材料グループの例である：
  - アスパルテーム(アミノ酸フェニララニンおよびアスパラギン酸から作られる)
  - 天然染料
  - 香料
  - 調味料
  - ビタミン包材
  - 乳化材および保存材
  - 泡防止材
  - その他



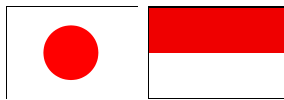
# 1. ⑨施設・設備・機器



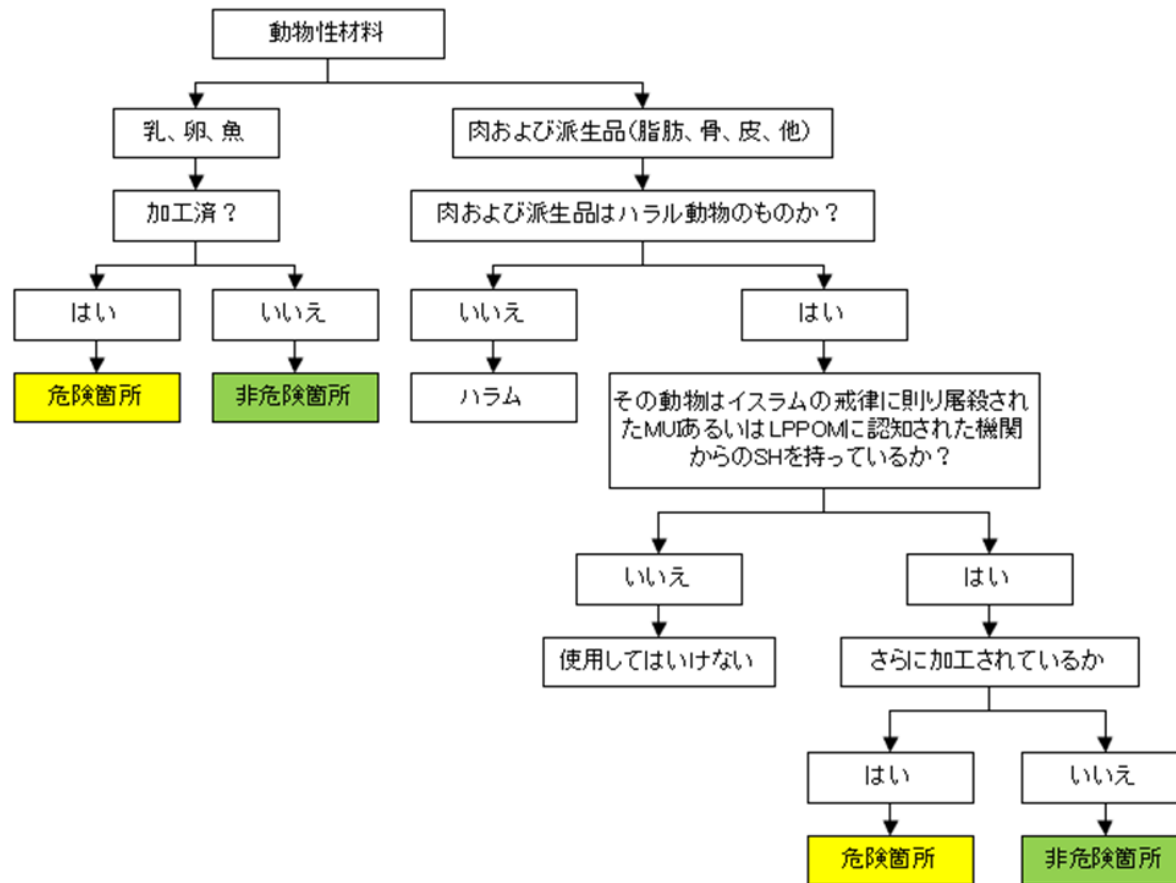
- ハラル製品と非ハラル製品を製造する産業は相互に汚染される事態を避けるために、製造設備・機器を別にしないといけない。
- 材料保管から、処方、製造工程、そして完成品保管場所は区別されなくてはならない。
- 器具はたとえ洗浄工程を経たとしても豚製品と非豚製品の間で交互に使うことは許されない。



# 1. ⑩ハラル・ハラムの特定方法

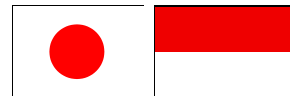


- ハラルとハラムの違いを確定する判断ポイントは『危険箇所』と呼ばれ、決定樹の表記方法で説明される。以下は動物性材料の危険箇所の特定方法の例である。決定樹には他に、植物性材料、菌製品、その他材料、保管および製造ラインに関するものがある。





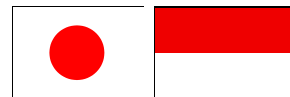
## 2. ハラル保証対象品目



対象品目	認定受付開始	認証取得期限
食料、飲料、屠殺品、屠殺サービス	2019年10月17日	2024年10月17日
伝統薬品、類似薬品、健康増強剤	2021年10月17日	2026年10月17日
市販薬品、限定市販薬品	2021年10月17日	2029年10月17日
耐冷性のものを除く劇薬	2021年10月17日	2034年10月17日
化粧品、化学品、遺伝子組み換え製品	2021年10月17日	2026年10月17日
服飾品、帽子、アクセサリ	2021年10月17日	2026年10月17日
家庭用衛生用品、家庭用品、イスラム教徒用礼拝道具、筆記具、事務用品	2021年10月17日	2026年10月17日
リスク等級Aの衛生機器用品	2021年10月17日	2026年10月17日
リスク等級Bの衛生機器用品	2021年10月17日	2029年10月17日
リスク等級Cの衛生機器用品	2021年10月17日	2034年10月17日

材料がハラルであるのか、あるいは製造方法がハラルであるのかが未明の薬品、生物製品、ならびに衛生用品については別途法律にて定める。



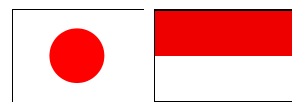


- ① ハラル保証制度の背景と目的
- ② ハラル保証管理組織
- ③ ハラル保証制度マニュアル
- ④ ハラル保証制度の運用

## 3. ハラル保証制度構築



# 3. ①ハラル保証制度の背景と目的



## 背景

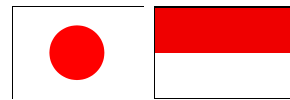
- 全ての製造者はムスリムの消費者を含む消費者の需要および権利を満たさなければならない。
- ハラル製品の製造はムスリム消費者に対する企業の責任の一環である。
- インドネシアにおいて消費される製品がハラルであることを消費者に対して確信を与えるため、企業はインドネシアイスラム学者協議会(MUI)のハラル認証を所有する必要がある。
- MUIの規定により、ハラル認証の有効期間は2年である。
- その期間中、企業は常に製品がハラルであり続けることをMUIおよびムスリムに対して保証を与えることが出来なくてはならない。
- そのため、インドネシアイスラム学者協議会食品・医薬品・化粧品検査機関(LPPOM-MUI)は企業に対してハラル保証制度(SJH)と称される制度を構築し、SJHマニュアルとして文書化することを義務付ける。
- マニュアルは企業の事情に応じて編集される。

## 目的

- 企業におけるSJHの編集と適用の目的は、ハラル製造工程の持続性を保つことで、作られる製品が常にLPPOM MUIの規定に沿ってハラルであることを常に保証され得ることである。



### 3. ②ハラル保証管理組織1/5



- ハラル管理組織はハラル製品を作り出す中での管理のあらゆる機能と活動を制御する企業内組織である。
- その機能と活動を制御する中で、企業側は最上位の方針決定階層から現場での技術作業の階層までの、ハラル製造制度に関係する全ての部門あるいは部署を関与させることができる。

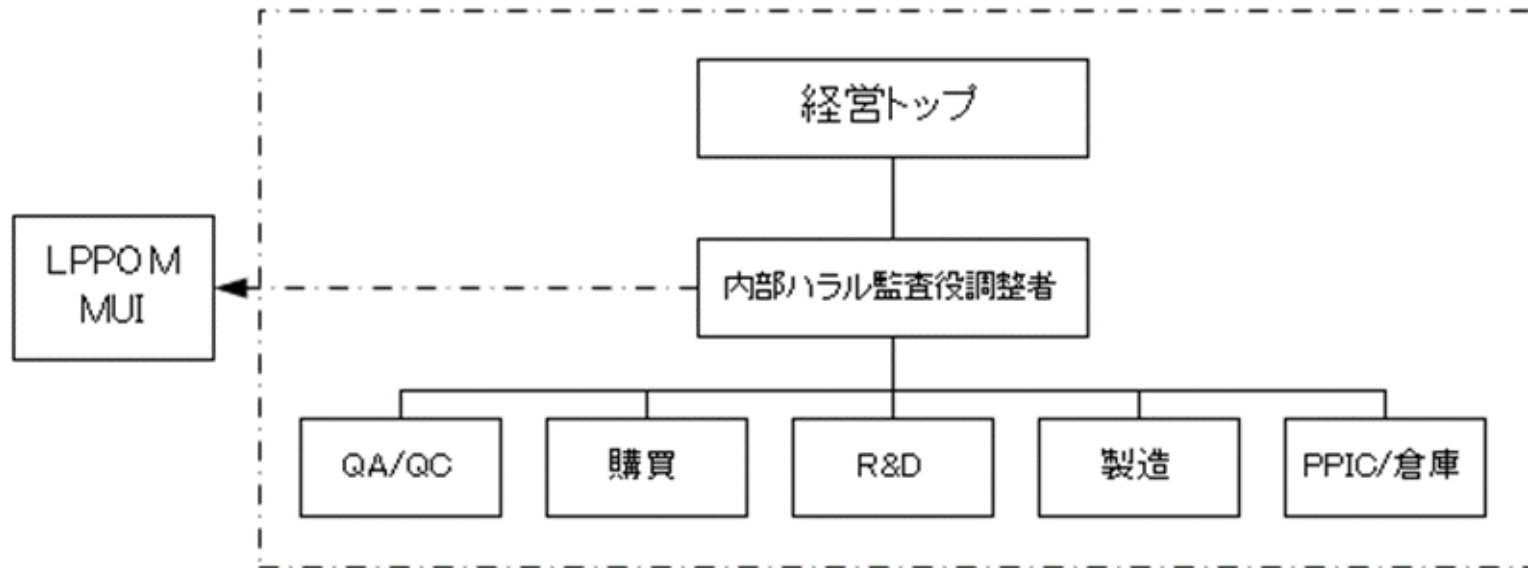


図-3 企業におけるハラル管理組織構造



### 3. ②ハラル保証管理組織2/5



#### 社内ハラル監査役の条件

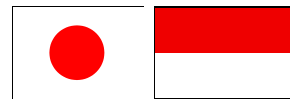
- a. 関連企業の正社員であること。
- b. 社内ハラル監査役チームの調整者はイスラム法典を理解し実践するムスリムであること。
- c. ハラル管理の範囲内に居ること。
- d. QA/QC, R&D, 購買、製造および倉庫部門のような一般的に製造工程に関与する部門から出ていること。
- e. 材料ならびに全体的な製造工程を見て、製品がハラムであることの危険箇所が分かること。
- f. 企業トップの決定書を通じて指名され、間違いに対する改善対策からLPPOM MUIにより規定された規則に則り製造停止あるいは原材料の拒絶まで、SJHの実践において必要な対策を実行するための全権を与えられること。

#### 一般的な社内監査役チームの職務

- a. 企業のSJHマニュアルを編集する。
- b. SJHの実践を調整する。
- c. SJH実践の報告書を作成する。
- d. LPPOM MUI側とのコミュニケーションを取る。



### 3. ②ハラル保証管理組織3/5



#### **経営トップの職務ならびに権限明細**

- a. 作り出される製品がハラルであることに関連する企業の方針を公式にする。
- b. 企業におけるSJH実践にとっての全面的な支持を与える。
- c. SJH実践において必要とされる設備や施設を用意する。
- d. 間違いに対する改善対策からLPPOM MUIにより規定された規則に則り製造停止あるいは原材料の拒絶まで、SJHの実践において必要と思われる対策を実行するために社内ハラル監査役の調整者に権限を与える。

#### **研究開発(R&D)の職務ならびに権限明細**

- a. KAHIIにより編成されLPPOM MUIにより承諾された材料に基づき新製品の製作システムを作り上げる。
- b. ハラル規定に則つとり材料変更システムを作り上げる。
- c. ハラルであることが明らかな代替材料を探す。
- d. 新製品の処方および製作における社内ハラル監査役調整者(KAHI)とのコミュニケーションを取る。



### 3. ②ハラル保証管理組織4/5



#### 品質管理および監視 (Quality Assurance/Quality Control)

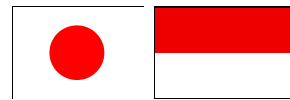
- a. ハラル製造を保証するための観察ならびに監督の手続きを編集し実践する。
- b. ハラル認証、仕様ならびに製造者に則り納入される全ての材料に対して検査を行う。
- c. ハラル書類と不一致の全ての材料ならびに在庫に対してKAHIとのコミュニケーションを取る。

#### 購買 (Purchasing)

- a. 社内ハラル監査役調整者(KAHI)により編成されLPPOM MUIにより承諾された材料リストに則り材料の継続性を保証出来る手順を作り上げて購買を実践する。
- b. 新材料の購買あるいは新規納入業者の選択において KAHIとのコミュニケーションを取る。
- c. 納入業者に対する評価を行いハラル書類の完成度に基づき納入業者の等級付けを行う。



### 3. ②ハラル保証管理組織5/5



#### 製造 (Production)

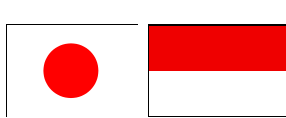
- a. 製品がハラルであることを保証出来る製造手順を編成する。
- b. 製品が清潔でハラムおよび不浄の材料から解放されていることを観察する。
- c. KAHIにより編集されLPPOM MUIにより承諾された材料処方構造に則った製造活動を進める。
- d. ハラル製造工程におけるKAHIとのコミュニケーションを取る。

#### 倉庫/PPIC(生産在庫計画)

- a. 保管される材料ならびに製品がハラルであることを保証し、ハラムや不浄のあらゆる物からの瑕疵を避けることが出来る倉庫管理の手順を編集する。
- b. KAHIにより編集されLPPOM MUIにより承諾された材料ならびに製品リストに則り製品と材料を保管する。
- c. 倉庫での材料の出し入れの仕組みにおいてKAHIとのコミュニケーションを取る。



# 3. ③ハラル保証制度マニュアル



マニュアルはLPPOM MUI発行のハラル保証制度全般解説書の内容に倣って作成出来る

## マニュアル構成

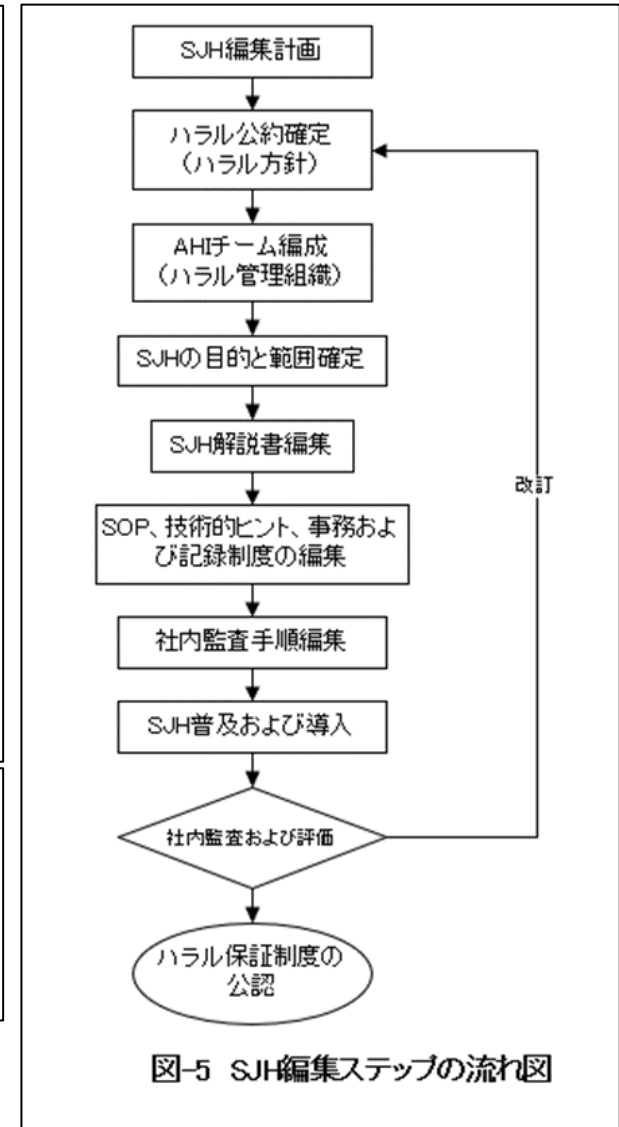
1. 企業基本情報
2. 書類管理
3. 適用目的
4. 適用範囲
5. ハラル方針
6. ハラル解説
7. ハラル管理構造
8. 標準業務手順(SOP)
9. 技術ヒント
10. 業務システム
11. 書類制度
12. 順応化
13. 訓練
14. 内外のコミュニケーション
15. 社内監査
16. 改善策
17. 管理再検査

## 添付資料

1. 承認ページの見本
2. 解説書配布リストの見本
3. 書類差替えリストの見本
4. ハラル方針の見本
5. ハラルの解説
6. ハラム決定箇所特定のための決定樹
7. 材料の危険箇所確定結果および防止対策表の見本
8. 生産工程の決定箇所確定結果および防止対策表の見本
9. ハラル標準業務手順(SOP)の見本
10. 業務システムの見本
11. 記録書類制度の見本
12. 訓練計画表の見本
13. 定期報告様式の見本
14. 社内ハラル監査様式の見本
15. 不適合報告書式の見本
16. 管理再検査議事録の見本

## 参考図

1. ハラル認定手続きの流れ
2. ハラル保証制度SJH運用サークル
3. 企業におけるハラル管理組織構造
4. ハラル保証制度SJH業務システムチェーン
5. ハラル保証制度SJH編集ステップの流れ図







# 3. ④ハラル保証制度の運用

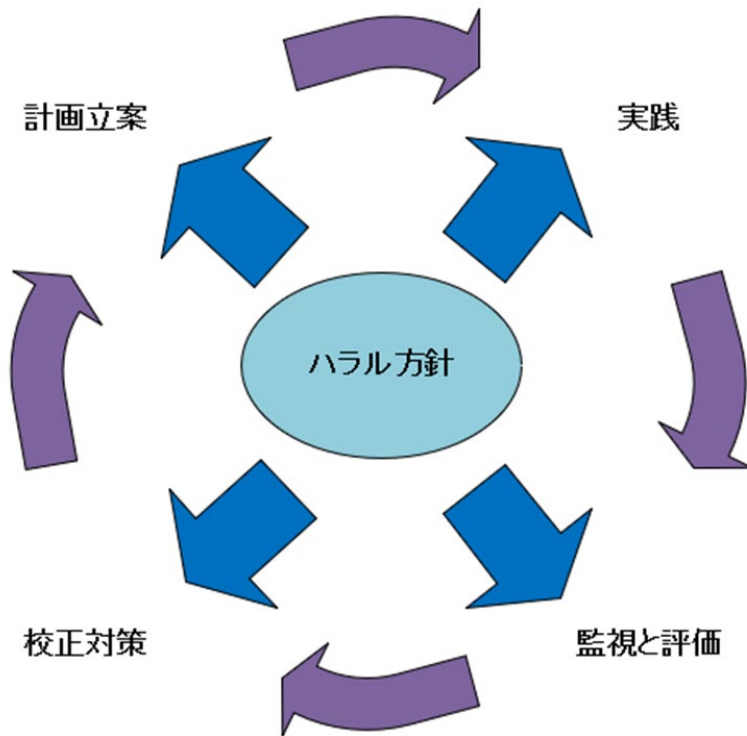
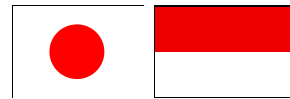


図-2 SJH運用サイクル

運用に必要な仕組み

1. 記録システム
2. 普及システム
3. 訓練
4. 社内外のコミュニケーション
5. 社内監査

## ハラル方針

ハラル方針の宣言は最初のステップで以下の基礎(心臓)となる:

- (1) SJHマニュアルを編集する(計画立案)
- (2) SJHを実践する(導入)
- (3) SJH実践を監視および評価する(Monitoring and Evaluation)
- (4) SJH実践に対する改善対策(Corrective Action)

## 計画立案(Planning)

企業はハラル保証制度解説書の内容でSJHマニュアルを編集する。

## 実践(Implementation)

企業はSJHマニュアルに書かれたように既に計画された全てのことを実践する。

## 監視および評価(Monitoring and Evaluation)

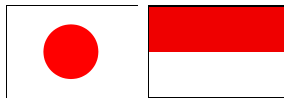
企業は実践の成果が計画に沿ってどこまで目的を満たしたのかを監視し評価する。

## 校正対策(Corrective Action)

企業は間違いを改善し間違いから学習し、さらに良い成果を達成するために計画を改善する。



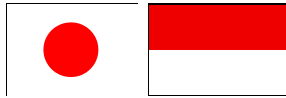
## 4. ハラル認定手続き



手順	手続	担当機関	関連書類・物品	日数
1	登録申請 書類審査 ハラル監督機関選定	ハラル製品保証実施庁 BPJPH	SJH標準マニュアル提出宣言書 製品認証書類	10日
2	オンラインシステムCEROL登録	インドネシアイスラム学者協 議会食品・医薬品・化粧品 検査機関LPPOM MUI		5日 ～ 10日
3	事前監査 料金支払い	LPPOM MUI		
4	監査日程確認	企業、監査役		
5	監査実施	監査役	SJH標準マニュアル ハラル保証制度11項目検査	5日 ～ 10日
6	監査役会議 見本試験	監査役 LPPOM MUI	材料/製品サンプル	
7	ハラル保証制度ステータス確定	監査役 LPPOM MUI		5日 ～ 10日
8	勧告委員会議によるハラル確定	MUI勧告委員会		
9	ハラルステータス確定	LPPOM MUI		
10	ハラル認証発行	BPJPH	ハラル認証	
11	ハラル認証更新(4年毎3カ月前)	BPJPH		21日



# 5. ハラル認定手続き料金



料金種類	企業規模	料金 (Rp)
申請料金	零細・小規模企業	300,000
	中規模企業	5,000,000
	大規模企業/外資企業	12,500,000
延長料金	零細・小規模企業	200,000
	中規模企業	2,400,000
	大規模企業/外資企業	5,000,000
海外での登録料金		800,000

## 日本国内におけるハラル試験機関(屠殺、原材料、香料のみに限定)

Muslim Professional Japan Association (MPJA)	Yoshioka Build 3F, 4-32-1 Yotsuya, Shinjuku-ku, Tokyo 160-0004, Japan
The Japan Moslem Association (JMA)	3-17-23 Higashigotanda, Shinagawa-ku, Tokyo, 141-0022 Japan
NPO Japan Halal Association	Excel Abiko 2F, 3-17-4 Karita, Sumiyoshiku, Osaka, Japan



# 6. ハラル認証/ハラルロゴ



## ハラル認証見本

00001632



REPUBLIK INDONESIA  
(REPUBLIC OF INDONESIA)  
جمهورية إندونيسيا

SERTIFIKAT HALAL  
(HALAL CERTIFICATE)  
شهادة الحلال

Nomor Sertifikat / Certificate Number: ID51220000016050420 / رقم الشهادة

Berdasarkan keputusan penetapan halal produk Majelis Ulama Indonesia nomor :  
Based on the decree to stipulating halal products of the Indonesian Council of Ulama :  
استنادا على قرار مجلس العلماء الإندونيسي عن تحديد الحلال للمنتجات :  
08160009710718

Jenis Produk / Type of Product	Restoran	نوع المنتج
Nama Produk / Name of Product	-Terlampir / As Attached-	اسم المنتج
Nama Pelaku Usaha / Name of Company	Ayam Betutu Ibu Nia	اسم الشركة
Alamat Pelaku Usaha / Company's Address	Jl. Merdeka No. 1 Sumerta Kelod, Kec. Denpasar Timur, Denpasar, Bali, 80239, Indonesia	عنوان الشركة

Diterbitkan di Jakarta pada / Issued in Jakarta on	1 September 2020	أصدرت الشهادة بجاكرتا في
Berlaku sampai dengan / Valid until	1 September 2024	سارية المفعول حتى

telah memenuhi ketentuan perundang-undangan  
Has complied with the provision of laws and regulations  
قد استوفت أحكام التشريع

KEPALA  
BADAN PENYELENGGARA JAMINAN PRODUK HALAL  
HEAD OF HALAL PRODUCT ASSURANCE BODY  
رئيس وكالة ضمان المنتجات الحلال  
Sukoso



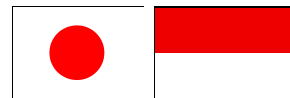
2022年3月以降  
有効のインドネ  
シア宗教省発  
行ロゴ



MUI発行  
旧ロゴ



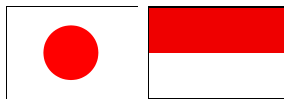
# 7. 関連用語



略語	インドネシア語	日本語
AKAD	Perjanjian tertulis	契約書
BPJPH	Badan Penyelenggaraan Jaminan Produk Halal	ハラル製品保証実施庁
CEROL	Certification Online	オンライン・ハラル認証申請
LPH	Lembaga Penyelia Halal	ハラル試験機関
LPPOM	Lembaga Pengkajian Pangan, Obat-obatan dan Kosmetika	食品・医薬品・化粧品検査機関
Maklon	Layanan produksi	委託生産
MUI	Majelis Ulama Indonesia	インドネシア・イスラム学者協議会
SJH	Sistem Jaminan Halal	ハラル保証制度
STTD	Surat Tanda Terima Dokumen	書類受理証明書



# 最新のインドネシア情報はこちらから



## インドネシア進出手順要点解説 <http://www.hmkt.jp/>

- インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイト

## インドネシア最新情報ブログ <http://blog.livedoor.jp/kojindonesia/>

- あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介

## インドネシアビジネスセミナー <https://abji.hamazo.tv/c724863.html>

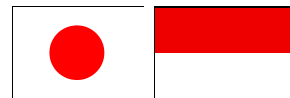
- 四半期毎に開催される一般社団法人日本インドネシアビジネス協会の会員セミナー
- 非会員でもオンライン参加が可能

## 教えて、小野先生 <https://abji.hamazo.tv/e9372595.html>

- 毎月第三水曜日17:00-18:00に開催されるインドネシアについての会員限定オンライン勉強会
- 入会金は1,000円/月

## インドネシア進出ハンドブック

- あらゆる進出形態での事業開始から撤退までのステップを詳細スケジュールと資料で解説
- 45年間のインドネシア事業で得た全ての知見を掲載
- 資料一式を<http://www.hmkt.jp/handbookset.zip>からダウンロード可



ご清聴ありがとうございました  
ここからは質疑応答です